

## 令和元年度 大阪府サービス管理責任者等基礎研修 振り返り

- ①サービス担当者会議について～参加の視点～
  - ・サービス担当者会議（サービス等利用計画作成会議）とは、つまり（顔の見える）関係になること。
  - ・本人の意向について、（本人の言葉）により確認する～意思決定支援～
  - ・サービス等利用計画案に示されている支援の（方向性）や必要な（支援内容）の全体像について確認する。
- ②個別支援計画作成について～本人中心支援計画の視点～
  - ・個別支援計画の作成にあたり「事例概要」及び「アセスメント表」、さらに「サービス担当者会議で確認した内容」を踏まえて（ニーズ整理）を行う。
  - ・本人に（分かりやすい）言葉で書く。
  - ・支援内容を（抽象的）な言葉でごまかさない。（安定した生活、薬がちゃんと飲めるように・・・etc）
  - ・（具体的）な目標、期間を設定する。
- ③ニーズ整理のポイント～ニーズの捉え方～
  - ・利用者の（意向）に沿っているか。
  - ・（多面的）に捉えているか。
- ④利用者への面接のポイント～権利擁護の視点～
  - ・面接の目的について利用者に（分かりやすく）説明する。
  - ・本人の具体的な（希望や不安）について聴き取る。（傾聴）
  - ・本人に支援例などを伝えて、（具体的）なイメージ化を促す。
- ⑤利用者・家族への説明のポイント
  - ・本人に（分かりやすい）言葉で説明する。
  - ・（総合的な支援・援助）の方針を確認することで、サービス等利用計画に基づき作成したことを確認する。
  - ・本人のニーズがきちんと反映されていることを、どのような（過程）を経て、何を（根拠）として支援内容を組み立てたかについて説明する。
- ⑥モニタリング～サービス提供のプロセスのイメージ～
  - ・当事者の生活の変化をキャッチしやすい（関係機関等）に協力を依頼して、（見守り体制）を構築することが重要。

研修を通して理解できたこと

演習お疲れ様でした